

2015 年 8 月

報道関係各位

公益財団法人 通信文化協会
郵政博物館

特別展

「ボンジュール！フランスの絵本たち」

2015 年 9 月 12 日(土) ～11 月 8 日(日)



1

—芸術大国フランスの子どもたちを育んだ絵本—

「シンデレラ」や「長靴をはいた猫」などを集めたペローの『童話集』、ヴェルヌの冒険物語など、フランスの児童書は、わが国はもとより世界中で親しまれています。

1930 年代、そのフランスの絵本史に大きな一歩を記したのが、「カストール文庫」です。教育者のポール・フォシェは、ナタリー・パランやロジャンコフスキーなど、パリに集ったロシアや東欧出身の美術家たちと協力して、わかりやすい豊かな内容、美しい挿絵に彩られながらも、手ごろで子どもたちが手に取りやすい絵本のシリーズを生み出しました。巣やダムを築く才能に恵まれたカストール（ビーバー）にちなんで名付けられたこのシリーズは、子どもたちが遊びながら学ぶことで、彼らの創造活動の手助けをするという、フォシェの理想を体現したものでした。彼が手がけた絵本は、1931 年から亡くなるまでの 30 年余りで 320 冊にのぼり、現在まで刊行されています。

本展では「カストール文庫」を中心に、同時代に誕生した『ぞうのババール』など、発展期の絵本と「遊ぶ」絵本の系譜を、日本初出展となる貴重な原画やデッサン、冊子など約 300 点で紹介し、芸術大国フランスの子どもたちを育んだ絵本の魅力を解き明かします。

1 ナタリー・パラン『こんにちは こんにちは』表紙（原画）、1934 年、カストール文庫

© Nathalie Parain, 1934, Archives Médiathèque Intercommunale du Père Castor, Forgeneuve, Meuzac, France

展覧会の構成

第1章 カストール文庫とナタリー・パラン

カストール文庫の創始者、ポール・フォシェ（1898-1967）によって、新しい絵本シリーズの画家に抜擢されたロシア出身のナタリー・パラン（1897-1958）。彼女を中心に、ゲルティックやロジャンコフスキー、アップシア等、初期のカストール文庫を支えた画家たちの作品を紹介します。また、同時期に誕生した『ぞうのババール』の絵本やデッサンも併せて展示します。



2



3

- 2 ベアトリス・アップシア『ひなぎくのおはなし』挿絵（原画）、1935年、カストール文庫
© Béatrice Appia, 1935, Archives Médiathèque Intercommunale du Père Castor, Forgeneuve, Meuzac, France
- 3 エレーヌ・ゲルティック『カストールおじさんの農場』挿絵（原画）、1937年、カストール文庫
© Hélène Guertik, 1937, Archives Médiathèque Intercommunale du Père Castor, Forgeneuve, Meuzac, France

第2章 カストール文庫の工作絵本

子どもたちの創造活動の手助けをするという、フォシェの理想を体現した「工作絵本」。カストール文庫を代表するシリーズです。本章では、絵を切り抜く、挿絵のパーツを組み合わせて遊ぶ等、さまざまな趣向を凝らした「工作絵本」とその原画を紹介します。

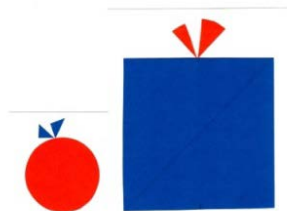


4

- 4 ナタリー・パラン『お面を作る』中頁（原画）、1931年、カストール文庫
© Nathalie Parain, 1931, Archives Médiathèque Intercommunale du Père Castor, Forgeneuve, Meuzac, France

第3章 カストール文庫の継承者たち

ポール・フォシェの死後、息子のフランソワがその後を継いで、1982年までに約280冊の本を出版しました。本章では、その時代に作られた絵本の中から、手紙や郵便にゆかりのある作品を紹介します。また、カストール文庫の枠を超えて、現在まで引き継がれ、展開されている「遊ぶ絵本」の系譜をたどります。



5

5 アンヌ・ベルティエ『水曜日』試作、2010年 © Anne Bertier, 2010

関連イベント

I. 活版印刷ワークショップ

味わいのある活版印刷でフランス語のカードを作ってみませんか。

〔日 時〕 10月31日(土)

①11:00～11:45 ②14:00～14:45 (計2回)

〔定 員〕 20名(各回10名)

〔対 象〕 中学生以上

〔講 師〕 印刷博物館「印刷の家」インストラクター

〔参 加 費〕 無料(入館料が必要です)

〔申込方法〕 往復はがきにて事前にお申込みください(1枚につき1名様、9月30日〔水〕必着)

*応募者多数の場合は抽選。

<往復はがき・往信部> 裏面に ①氏名 ②住所 ③電話番号 ④希望時間

<往復はがき・返信部> 表面に ①返信用宛先 ②郵便番号

を記入のうえ、以下の宛先までお申込みください。

<宛先> 〒131-8139 墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ9階

郵政博物館「WS係」

II. 小さなフランス語レッスン Petites leçons de français (予約不要)

本展で紹介されている絵本にちなみ、はじめての方でも楽しめる簡単なフランス語のレッスンを行います。

〔日 時〕 9月19日(土)、9月23日(水・祝)、10月3日(土)、10月17日(土)、
11月8日(日)

①11:00～11:30 ②14:00～14:30

〔内 容〕 ①「こんにちは こんにちは(Bonjour Bonsoir)」基本のあいさつ等

②「お店屋さんをしましょう(Faites votre marché)」買い物のしかた

〔参 加 費〕 無料(入館料が必要です)

Ⅲ. 本展オリジナル記念小型印（消印）の押印サービス（会期中）

同時開催

ボンジュール！フランスの絵本たちーアンヌ・ベルティエと現代の「遊ぶ絵本」

〔主 催〕 アンスティチュ・フランセ東京

〔会 場〕 アンスティチュ・フランセ東京（東京都新宿区市谷船河原町 15）

〔会 期〕 2015 年 9 月 12 日（土）～27 日（日）

* 詳細は、「アンスティチュ・フランセ東京」HP（<http://www.institutfrancais.jp/tokyo>）をご覧ください。

開催概要

〔会 期〕 2015 年 9 月 12 日（土）～11 月 8 日（日）

〔休 館 日〕 水曜日

＊ 9 月 23 日（水・祝）は開館し、翌 24 日（木）に休館。

＊ 上記は本展会期中の休館日です。それ以外の休館情報は、当館 HP にてご確認ください。

〔開館時間〕 10 時～17 時 30 分（入館は 17 時まで）

〔入 館 料〕 一般 300 円（250 円）、小・中・高校生 150 円（100 円）

＊（ ）内は 10 名以上の団体料金

＊ 障がい者手帳をお持ちの方と介助者の方は無料

〔主 催〕 郵政博物館

〔後 援〕 在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本、
一般社団法人日本国際児童図書評議会（JBBY）

〔企画協力〕 株式会社イデップ

〔特別協力〕 「カストール文庫」友の会、「カストール文庫」メディアテーク、
アンスティチュ・フランセ東京

会場のご案内

〔会 場〕 郵政博物館 企画展示場

〒131-8139 東京都墨田区押上 1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ 9 階

〔アクセス〕 ・東武スカイツリーライン「とうきょうスカイツリー駅」下車

・東武スカイツリーライン・東京メトロ半蔵門線・京成押上線・都営浅草線

「押上（スカイツリー前）駅」下車直結

＊ 博物館専用の駐車スペースはありません。公共の交通機関をご利用ください。

＊ 東京スカイツリータウンイーストヤード 9 階へのアクセス

エスカレーターまたはエレベーターで 8 階まで

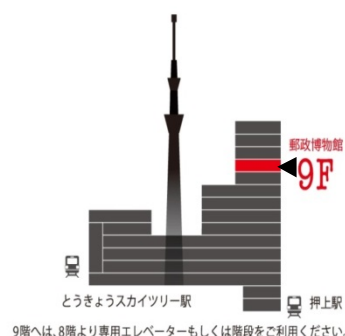
8 階で 8-10 階専用エレベーターに乗りかえ、

9 階で降り右折正面

〔お問い合わせ〕 03-6240-4311（郵政博物館 総合受付）

＊ 一般の方のお問い合わせ先

〔ホームページ〕 <http://www.postalmuseum.jp>



【報道関係のお問い合わせ先】

本展担当：郵政博物館 資料センター

石井 里佳

T E L : 047-316-1121 / F A X : 047-306-8452

E-mail : r-ishii@tsushinbunka.org

